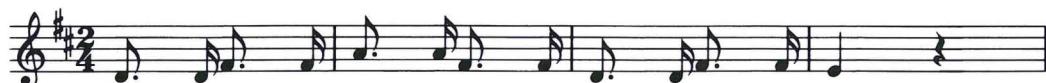


金沢市歌

■大正12年5月30日制定(1923年)■

鴻巣盛広 作詞
金沢市唱歌研究会 作曲



1. ふたつの流れ遠長く
2. ナガメツキセヌケンロ
3. ぶんかのうしお一はやけ
がくノ
ノ
ど



れいたくすんで一わくところ
ソノニハヒトノ一カゲタズ
ちのりひとのわ一かくるな
ズ
く



いらかのかずの一ひにそいて
イチビトワザヲ一イソシメバ
ここほくりくの一ちゅうしんと



おのずからなる一だいと
チマタニセイキ一アフレタ
とわにさかえん一かナリシ

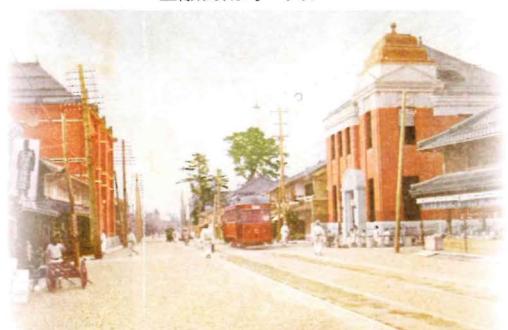
一 二つの流れ遠長く
二 霊沢澄んで涌く所
三 薦の数の日に添ひて
四 自らなる大都会

眺め尽きせぬ兼六の
園には人の影絶えず
市人業をいそしみば
巷に生氣溢れたり

文化の潮早けれど
地の利人の和欠くるなく
此處北陸の中心と
永久に榮えん金沢市

♪ 明るく元気に、うれしさを込めて歌いましょう

金融街南町 大8



主なことばの意味

ふたつの流れ…犀川と浅野川の流れ
靈沢…兼六園にある涌き水「金城靈沢」

薦…屋根瓦のことと、当時は屋根は板ぶきが多かつた
自から…もとからもっている。自然に
行んろくその…宏大、幽邃、人力、蒼古、水泉、眺望の特色を兼ね備えている
兼六の園…兼六園のこと

いちひと市人…市で物を売る人から広く市民
業…仕事
巷…まちの中
文化の潮…文化の流れ
地の利…その土地のもつてゐる特徴